

工事成績評定の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

2018/1/1 以降

(検査員)

考査項目	細別	a	b	c	d	e	
2, 施工状況	I. 施工管理	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切	不適切である	
		<p>●評価対象項目</p> <p>□1) 施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目、内容が適切に記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっていることが確認できる。</p> <p>□2) 現場条件又は計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書が提出されていることが確認できる。</p> <p>□3) 段階確認、施工状況把握が適期に行われ、記録整理されていることが確認できる。</p> <p>□4) 工事の関係書類が不足なく簡潔に整理されていることが確認できる。</p> <p>□5) 工事記録写真等が、写真管理基準及び写真管理実施要領に基づき行われていることが確認できる。</p> <p>◎□6) 施工計画書に土木工事施工管理基準に示した基準を上回る自社の施工管理基準を設定し、管理していることが確認できる。</p> <p>□7) その他</p>				<p>□ 施工について、監督員が文書で改善指示を行った。</p>	<p>□ 施工について、監督員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上.....a</p> <p>評価値が80%以上90%未満.....b</p> <p>評価値が80%未満.....c</p>			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①○印の評価対象項目については、当該工事に該当しない場合はその項目を削除する。</p> <p>②◎印は加点項目であり、施工計画書に施工管理基準(出来形又は品質)を上回る自社管理値を設けており、基準と自社管理値の仕分けが明確に記載され、計画どおり管理されている場合に評価する。</p> <p>③削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>④評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()</p> <p>⑤なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>		

工事成績評定の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

2018/1/1 以降

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評定対象項目」の4項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評定対象項目」の3項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評定対象項目」の3項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評定対象項目」の2項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a~b'に該当しない。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合(手直し工事の完了が検査の翌日に検査員により確認できた場合)は、「d」より上位の評価とすることができる。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員又は検査時の指摘による修補を行った。
		<p>●評価対象項目</p> <p>□1) 出来形管理表または管理図表(測定基準に「寸法表示箇所」または「測点毎」と記載された測定項目を含む)及び工事完成図が、過不足なく整理されていることが確認できる。</p> <p>◎□2) 出来形管理の結果が、施工計画書に設定した自社施工管理基準を管理点数の8割以上で満足していることが確認できる。</p> <p>□3) 写真管理基準の管理項目及び管理点数が基準を満足している。</p> <p>□4) 不可視部分の出来形が、写真で確認できる。</p> <p>◎□5) 出来形管理基準が定められていない工種について、監督員と協議の上で管理していることが確認できる。</p> <p>□6) その他</p>						
<p>① 出来形の評定は、工事全般を通じて評定するものとする。</p> <p>② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。</p> <p>③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系である。</p> <p>④ □1)の「寸法表示箇所」と記載された測定項目とは、堰堤工、橋台躯体工、橋脚躯体工などの設計図面の寸法表示箇所のことである。</p> <p>⑤ □1)の「測点毎」と記載された測定項目とは、護岸工・流路工の幅(W1・W2)など、横断面図等に寸法表示がなくても管理すべき測定項目のことである。</p> <p>⑥ □1)において、道路改良工事に必要な測定項目(W1・W2・W3)を管理していない場合は評価しない。</p> <p>⑦ 出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。</p> <p>⑧ ◎印は加点項目である。5)については、新工種における特殊工事で、技術的根拠を基に監督員と協議の上新たに管理基準を設けた場合に限定して評価する。新工種でも他の規格値を準用した場合は評価しない。</p>								

工事成績評定の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

2018/1/1 以降

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	コンクリート 構造物工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]、 ※バラツキの判断は様式3-9図参照					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合(手直し工事の完了が検査の翌日に検査員により確認できた場合)は、「d」より上位の評価とすることができる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員又は検査時の指摘による修補を行った。
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1) 施工基面が平滑に仕上げられ、浮き石、ゴミ、湧水及び滞水等を排除して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2) 埋戻し材料が設計図書の仕様を満足しているとともに、巻出し、転圧が適切に施工され、設計図に示す形状に仕上げられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3) 設計図書に基づくコンクリートが使用されており、適切なコンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材粒径・アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> 4) コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量、塩基総量、単位水量等の測定結果が確認できる。 ☆ <input type="checkbox"/> 5) 施工条件や気象条件に適した運搬・打設時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> 6) 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7) コンクリートが、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8) コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理、面取りが適切に行なわれているとともに、脱型後に、型枠の締め付け材がコンクリート表面に残されてないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9) 鉄筋の品質が証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 10) 鉄筋の引張強度・曲げ強度が試験値で確認できる。 <input type="checkbox"/> 11) コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12) 鉄筋の組立及び加工が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13) 鉄筋を露出した状態で完了する場合、防錆の処置が適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14) 圧接作業は有資格作業員が行っていることが確認できる。 ☆ <input type="checkbox"/> 15) コンクリートの養生が、定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 16) スペースの品質及び個数が仕様書に定められた条件を満足し、鉄筋のかぶりを確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 17) コンクリートの圧縮強度を管理し、工期内に28日強度が確認できない場合は監督員と所定の協議を行っている。 <input type="checkbox"/> 18) コンクリート構造物に有害なクラックがない。 ※様式土3-9を参照 <input type="checkbox"/> 19) その他 ●判断基準 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満.....a' 評価値が70%以上80%未満.....b 評価値が60%以上70%未満.....b' 評価値が60%未満.....c						

①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。
 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。
 ⑤当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(☆印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。

工事成績評定の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

2018/1/1 以降

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	土工事 (切土、盛土、堤防等工事)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]、 ※バラツキの判断は様式3-9図参照						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合(手直し工事の完了が検査の翌日に検査員により確認できた場合)は、「d」より上位の評価とすることができる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員又は検査時の指摘による修補を行った。
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1) 雨水等による滞水、流入が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2) 段切りが仕様書に基づき行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3) 置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 ☆ <input type="checkbox"/> 4) 締固めを適切な条件(巻き出し厚、含水比、転圧機械)で施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5) 芝付け及び種子吹付が設計図書に定められた条件で行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6) 構造物周辺の締固めが設計図書に定められた条件で行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7) 土羽土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。 ☆ <input type="checkbox"/> 8) 盛土材料試験(土の締固め試験(CBR試験))及び現場密度の測定等必要な試験を行っている。 <input type="checkbox"/> 9) 法面に有害な亀裂がない。 <input type="checkbox"/> 10) 伐開・除根作業により発生した伐開木、根株、枝条等が適切に処理されている。 <input type="checkbox"/> 11) 切取法面において、落石等の危険がないように緩んだ転石、岩塊等が除去されている。 <input type="checkbox"/> 12) 残土の処理が適切に実施され、残土処分量が資料により確認できる。 <input type="checkbox"/> 13) その他							
		●判断基準 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満.....a' 評価値が70%以上80%未満.....b 評価値が60%以上70%未満.....b' 評価値が60%未満.....c						①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。 ⑤当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(☆印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。	

工事成績評定の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

2018/1/1 以降

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	護岸・根固・水制工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]、 ※バラツキの判断は様式3-9図参照					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合(手直し工事の完了が検査の翌日に検査員により確認できた場合)は、「d」より上位の評価とすることができる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員又は検査時の指摘による修補を行った。
II. 品質	ブロック(石)積工(張工)	●評価対象項目 [共通] <input type="checkbox"/> 1) 基礎工(護岸)において、掘り過ぎがなく施工しているとともに、施工基面が平滑に仕上げられ、浮き石、ゴミ、湧水及び滞水等を排除して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2) 埋戻し材料が設計図書の仕様を満足しているとともに、巻出し、転圧が適切に施工され、設計図に示す形状に仕上げられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3) 設計図書に基づくコンクリートが使用され、コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施している。加えて、コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 ☆ <input type="checkbox"/> 4) 施工条件や気象条件に適した運搬・打設時間、打設時の投入高さ及び締固め・養生方法が定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> 5) コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理、面取りが適切に行われているとともに、脱型後に、型枠の締め付け材がコンクリート表面に残されていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6) コンクリートが、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7) コンクリートの圧縮強度を管理し、工期内に28日強度が確認できない場合は、監督員と所定の協議を行っている。 <input type="checkbox"/> 8) 指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 9) 製品にひび割れ等の損傷なく設置されているとともに、ゴミ・泥等が付着していないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10) 植生工で、植生の種類、品質、配合、及び養生が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11) コンクリート構造物に有害なクラックがない。 ※様式土3-9を参照 [護岸工、ブロック(石)積工(張工)] ☆ <input type="checkbox"/> 12) 裏込材及び胴込めコンクリートの締固めが、空隙が生じていないよう十分行われており、抜型枠の処理が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13) 緑化ブロック、石積(張)、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸出しがないよう行われていることが確認できる。 ☆ <input type="checkbox"/> 14) 水抜き孔は適切な位置に設けられ、吸い出し、目詰まりのないよう施工されている。 <input type="checkbox"/> 15) 伸縮目地は適切な位置に設けられている。 <input type="checkbox"/> 16) 丁張りを3重に設けるなど、法勾配、裏込め材の厚さの確保のため細心の注意をはらっている。 <input type="checkbox"/> 17) 石積(張)工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 18) 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性が確保されていることが確認できる。 [根固め・水制工・植生工] <input type="checkbox"/> 19) 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 20) 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。(根固工では連結金具のネジ山つぶしが確認できる。) <input type="checkbox"/> 21) その他 ●判断基準 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満.....a' 評価値が70%以上80%未満.....b 評価値が60%以上70%未満.....b' 評価値が60%未満.....c						
		①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑤当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(☆印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。						

工事成績評定の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

2018/1/1 以降

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	鋼橋工事 (RC床版工事は コンクリート橋工事 に準ずる) 及びその他 鋼構造物 [水管橋・水門・ 樋門工(扉体工)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]、 ※バラツキの判断は様式3-9図参照					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合(手直し工事の完了が検査の翌日に検査員により確認できた場合)は、「d」より上位の評価とすることができる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員又は検査時の指摘による修補を行った。
	●評価対象項目 [工場製作関係] <input type="checkbox"/> 1) 鋼材の種類が、品質を証明する書類又は現物により照合されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2) 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3) 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満たしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4) 溶接施工に係る施工計画書が提出されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5) 孔空けによって生じたまくれが削りとられているなど、きめ細やかに製作されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6) 欠陥部の発生が見られないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7) 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8) 素地調整を行う場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9) 塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10) 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 [架設関係] ☆ <input type="checkbox"/> 11) ボルトの締付確認が実施され、記録が保管されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12) ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13) 高力ボルトの締め付けが、中心から外側に向かって行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14) 高力ボルトの品質証明書等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 15) 支承の据付で、コンクリート面のチッピング及び仕上げ面に水切勾配がついていることが確認できる。 ☆ <input type="checkbox"/> 16) 架設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 17) 架設に用いる仮設備及び架設用機材については、品質・性能が確保できる規模と強度を有することが確認できる。 <input type="checkbox"/> 18) 現場塗装部のケレン及び膜厚管理が適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 19) 現場塗装において、温度、湿度、風速等の確認が行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 20) その他 ●判断基準 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満.....a' 評価値が70%以上80%未満.....b 評価値が60%以上70%未満.....b' 評価値が60%未満.....c							

①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。
 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
 ③評価値 (%) = 該当項目数 () / 評価対象項目数 ()
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。
 ⑤当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目 (☆印) が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。

工事成績評定の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

2018/1/1 以降

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	砂防構造物工事及び	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]、 ※バラツキの判断は様式3-9図参照						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合(手直し工事の完了が検査の翌日に検査員により確認できた場合)は、「d」より上位の評価とすることができる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員又は検査時の指摘による修補を行った。
II. 品質	地すべり防止工事(集水井戸工事を含む)	●評価対象項目 【共通】 <input type="checkbox"/> 1) 施工基面が平滑に仕上げられ、浮き石、ゴミ、湧水及び滞水等を排除して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2) 埋戻し材料が設計図書の仕様を満足しているとともに、巻出し、転圧が適切に施工され、設計図に示す形状に仕上げられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3) 設計図書に基づくコンクリートが使用されており、適切なコンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材粒径・アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> 4) コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量、塩基総量、単位水量等の測定結果が確認できる。 ☆ <input type="checkbox"/> 5) 施工条件や気象条件に適した運搬・打設時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> 6) 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7) コンクリートが、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8) コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理、面取りが適切に行なわれているとともに、脱型後に、型枠の締め付け材がコンクリート表面に残されていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9) 地山とのすりつけが適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10) 鉄筋及び鋼材の規格が、品質を証明する書類等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 11) 鉄筋の引張強度・曲げ強度が試験値で確認できる。 ☆ <input type="checkbox"/> 12) コンクリートの養生が、定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13) コンクリートの圧縮強度を管理し、工期内に28日強度が確認できない場合は監督員と所定の協議を行っている。 【砂防構造物工事に適用】 <input type="checkbox"/> 14) 止水板が適正な位置に配置されている。 <input type="checkbox"/> 15) 鉄筋の組立及び加工が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 16) コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 17) アンカーの施工が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 18) グラウトの注入にあたり、グラウトが孔内から排出されるまで連続して注入作業が行われている。 <input type="checkbox"/> 19) ボルトの締付確認が実施され、記録が保管されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 20) ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 【地すべり対策工事(抑止杭・集水井戸を含む)】 <input type="checkbox"/> 21) アンカーの施工が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 22) ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 23) ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 24) 集・排水ポーリング工の方向及び角度が適正となるように施工上の配慮がなされていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 25) コンクリート構造物に有害なクラックがない。 ※様式土3-9を参照 <input type="checkbox"/> 26) その他							

①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。
 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。
 ⑤当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(☆印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。

●判断基準
 評価値が90%以上.....a
 評価値が80%以上90%未満.....a'
 評価値が70%以上80%未満.....b
 評価値が60%以上70%未満.....b'
 評価値が60%未満.....c

工事成績評定の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

2018/1/1 以降

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	舗装工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]、 ※バラツキの判断は様式3-9図参照					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合(手直し工事の完了が検査の翌日に検査員により確認できた場合)は、「d」より上位の評価とすることができる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員又は検査時の指摘による修補を行った。
		●評価対象項目 [路床・路盤工関係] <input type="checkbox"/> 1) 設計図書に定められた試験方法で路床及び路盤材料の基準密度・CBR値を測定していることが確認できる。 ☆ <input type="checkbox"/> 2) 路床及び路盤工のブルーフローリングを行っていることが確認できる。(既設路床・路盤を含む。) <input type="checkbox"/> 3) 路床及び路盤工の密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4) 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去し、材料を均一に敷均していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5) 路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めており、また構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンパ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。 [アスファルト舗装工関係] <input type="checkbox"/> 6) アスファルト混合物の品質が配合設計及び試験練りの結果または、事前審査制度の証明書類により確認できる。 <input type="checkbox"/> 7) 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。 ☆ <input type="checkbox"/> 8) プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録し、気象条件等に配慮して敷均し、締固めを適切に行っており、また舗設後の交通の開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9) 各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた数値以上であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10) 縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が設計図書の仕様を満足しており、また瀝青材料を所定量均一に散布し、養生していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11) アスファルト舗装工の密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 [コンクリート舗装工関係] <input type="checkbox"/> 12) 設計図書に基づくコンクリートが使用されており、適切なコンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材粒径・アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> 13) 舗装工の施工に先だって、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14) コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量、塩基総量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 15) 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 ☆ <input type="checkbox"/> 16) 運搬時間、打設方法及び養生方法等が、施工条件及び気象条件に適しており、仕様書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 17) 材料が分離しないようコンクリートが敷均されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 18) チェアー及びタイバーが、損傷などが発生しないよう保管されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 19) 鉄網及び目地処理が適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 20) コンクリート構造物に有害なクラックがない。 ※様式土3-9を参照 [橋面防水工関係] <input type="checkbox"/> 21) 床板表面の凹凸が少なく、ゴミなどが確実に除去されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 22) 使用材料の品質が証明書類で確認でき、輸送、保管が適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 23) 気象状況を考慮して施工しており、施工前にコンクリート表面の含水率を測定し確認している。 ☆ <input type="checkbox"/> 24) 防水シートの貼付けが気泡等が生じないよう入念に施工され、重ね部が適切に処理されていることが確認できる。また生じた気泡等が適切に補修されていることが確認できる。 ☆ <input type="checkbox"/> 25) 塗布材料(塗膜系防水材、プライマー、貼付用アスファルト等)がむらなく均一に、かつ表面に損傷等が生じないよう施工され、養生されていることが確認できる。また生じた損傷が適切に補修されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 26) 端部(排水柵・伸縮装置周り、歩車道境界部等)の処理が設計図書どおりに行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 27) その他						
①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑤当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(☆印)が実施されていない場合								
							●判断基準 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満.....a' 評価値が70%以上80%未満.....b 評価値が60%以上70%未満.....b' 評価値が60%未満.....c	

工事成績評定の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

2018/1/1 以降

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	海岸工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]、 ※バラツキの判断は様式3-9図参照						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合(手直し工事の完了が検査の翌日中に検査員により確認できた場合)は、「d」より上位の評価とすることができる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員又は検査時の指摘による修補を行った。
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1) 設計図書に基づくコンクリートが使用されており、適切なコンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材粒径・アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 ☆ <input type="checkbox"/> 2) コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量、塩基総量、単位水量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 3) 施工条件や気象条件に適した運搬・打設時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> 4) 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5) コンクリートが、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6) コンクリートブロックの転置及び仮置にあたって、強度確認を行っている。 <input type="checkbox"/> 7) 転倒や崩壊等がないようにコンクリートブロックの仮置を行っていたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8) 捨石基礎の均し面が平坦に仕上げられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9) 被覆石は、ゆるみのないよう堅固に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10) 捨石、被覆石など材料の規格・品質が試験成績表(現物照合を含む)で確認できる。 <input type="checkbox"/> 11) マット(シート)が破損なく所定の幅で重ね合わせられていることが写真等により確認できる。 <input type="checkbox"/> 12) 工事期間中、1日1回は潮位観測を実施して記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13) 台風などの異常気象に備えて施工前に避難場所の確保及び退避設備の対策を講じていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14) 鉄筋の品質が証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 15) 鉄筋の引張強度・曲げ強度が試験値で確認できる。 <input type="checkbox"/> 16) コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 17) 鉄筋の組立及び加工が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 18) スペーサーの品質及び個数が仕様書に定められた条件を満足し、鉄筋のかぶりを確保していることが確認できる。 ☆ <input type="checkbox"/> 19) コンクリートの養生が、定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 20) コンクリートの圧縮強度を管理し、工期内に28日強度が確認できない場合は監督員と所定の協議を行っている。 <input type="checkbox"/> 21) コンクリート構造物に有害なクラックがない。 ※様式土3-10を参照 <input type="checkbox"/> 22) その他							
●判断基準 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満.....a' 評価値が70%以上80%未満.....b 評価値が60%以上70%未満.....b' 評価値が60%未満.....c									
①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。 ⑤当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(☆印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。									

工事成績評定の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

2018/1/1 以降

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	法面工事 (NO.1)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]、 ※バラツキの判断は様式3-9図参照					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合(手直し工事の完了が検査の翌日中に検査員により確認できた場合)は、「d」より上位の評価とすることができる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員又は検査時の指摘による修補を行った。	
		●評価対象項目 [共通] <input type="checkbox"/> 1) 施工基面が平滑に仕上げられ、浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2) 使用する材料の種類、品質等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ☆ <input type="checkbox"/> 3) 工事实施にあたり、湧水処理、配合決定等について、監督員の事前の承認を受けて適正に施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4) 雨水による崩壊が起らないように、排水対策を実施していることが確認できる。 [種子吹付工、客土吹付工、植生基材吹付工関係] <input type="checkbox"/> 5) 土壌硬度試験及び土壌試験(PH)を実施し施工に反映している。 ☆ <input type="checkbox"/> 6) ネット(金網)などに破損、端部のめくれ等がなく、地山に沿って隙間なく施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7) 吹付け厚さに応じて単層、複層の施工が行われ、均等に地山に吹き付けされていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8) 吹付け材が均一に発芽しているのが確認できる。 [コンクリート又はモルタル吹付工関係] <input type="checkbox"/> 9) 設計図書の仕様を満足する配合設計が行われ、その結果に基づき実施され、吹付け厚さが均等であることが確認できる。 ☆ <input type="checkbox"/> 10) 金網が適正に施工(アンカー位置・間隔、重ね幅、地山からの離隔、法肩の巻き方等)されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11) 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12) 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13) 水抜きパイプが適切に配置されている。 <input type="checkbox"/> 14) 目地の施工位置、方法、間隔等が適切に処理されている。 <input type="checkbox"/> 15) コンクリート構造物に有害なクラックがない。 ※様式土3-9を参照							
		●判断基準 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満.....a' 評価値が70%以上80%未満.....b 評価値が60%以上70%未満.....b' 評価値が60%未満.....c					①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑤当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(☆印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。		

工事成績評定の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

2018/1/1 以降

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	法面工事 (NO.2)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]、 ※バラツキの判断は様式3-9図参照					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合(手直し工事の完了が検査の翌日に検査員により確認できた場合)は、「d」より上位の評価とすることができる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員又は検査時の指摘による修補を行った。	
		●評価対象項目 [現場打込工関係] <input type="checkbox"/> 16) 設計図書の仕様を満足する配合設計が行われ、その結果に基づき実施されていることが確認できる。 ☆ <input type="checkbox"/> 17) アンカー及び鉄筋等が現場において適正に保管され、設計図書どおりの長さ、位置、間隔で施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 18) 層間にはく離がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 19) 不良箇所が生じないように跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 20) コアーが現場で採取され、圧縮強度試験結果が適切に整理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 21) 目地の施工位置、方法、間隔等が適切に処理されている。 <input type="checkbox"/> 22) 鉄筋の品質が証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 23) 鉄筋の引張強度・曲げ強度が試験値で確認できる。 <input type="checkbox"/> 24) コンクリート構造物に有害なクラックがない。 ※様式土3-9を参照 [落石防止工関係] <input type="checkbox"/> 25) 岩盤用アンカー打ち込みヶ所の表土は取り除かれ、岩盤が露出していることが確認できる。 ☆ <input type="checkbox"/> 26) 岩盤への削孔深、削孔径が規定値を満たし、固定が確認できる。 <input type="checkbox"/> 27) 注入剤(セメントミルク等)の充填状況が確認できる。 <input type="checkbox"/> 28) 金網の重ね幅が確保されている。 <input type="checkbox"/> 29) 岩盤用アンカーボルト及び羽根付アンカーの打ち込み角度が確認できる。 [グラウンドアンカー工関係] ☆ <input type="checkbox"/> 30) グラウンドアンカー工の削孔は位置、削孔径、長さ、方向が設計図書に示されたとおり、実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 31) グラウンドアンカー工の削孔終了後、スライムが除去されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 32) グラウト注入圧が設計注入圧を超えていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 33) アンカー工の各種試験が、事前に提出された試験計画書どおりに実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 34) 支圧版が適切に設置されていることが確認できる。							
		●判断基準 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満.....a' 評価値が70%以上80%未満.....b 評価値が60%以上70%未満.....b' 評価値が60%未満.....c					①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑤当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(☆印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。		

工事成績評定の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

2018/1/1 以降

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	法面工事 (NO.3)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]、 ※バラツキの判断は様式3-9図参照					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合(手直し工事の完了が検査の翌日中に検査員により確認できた場合)は、「d」より上位の評価とすることができる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員又は検査時の指摘による修補を行った。	
		●評価対象項目 [連続繊維補強土工関係] <input type="checkbox"/> 35) 築造勾配が適切で、厚さが均等であることが確認できる。 ☆ <input type="checkbox"/> 36) 連続繊維の混入量が管理され、適切な配合量であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 37) 砂質土の表面水の試験を行い、適切な配合量であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 38) 築造後の跳ね返り砂の除去・清掃を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 39) 補強土の一面せん断試験を実施し、所定の強度が確認できる。 <input type="checkbox"/> 40) 築造量や繊維計量器のキャリブレーションが実施されている。 <input type="checkbox"/> 41) 裏面排水材が適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 42) アンカーを設計図書どおりの長さ、削孔長、配置、頭部突出長で施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 43) アンカーの削孔終了後、スライムが除去されグラウトの充填状況が確認できる。 <input type="checkbox"/> 44) 保水、保肥材を設計図書どおりの密度で設置していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 45) その他							
		●判断基準 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満.....a' 評価値が70%以上80%未満.....b 評価値が60%以上70%未満.....b' 評価値が60%未満.....c					①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値 (%) = 該当項目数 () / 評価対象項目数 () ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑤当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(☆印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。		

工事成績評定の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

2018/1/1 以降

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	基礎工事及び地盤改良工事 (NO.1)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]、 ※バラツキの判断は様式3-9図参照					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合(手直し工事の完了が検査の翌日に検査員により確認できた場合)は、「d」より上位の評価とすることができる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員又は検査時の指摘による修補を行った。	
		●評価対象項目 【杭関係共通】 <input type="checkbox"/> 1) 杭に損傷及び補修痕が無いことが確認できる。 ☆ <input type="checkbox"/> 2) 既製杭の打止め管理の方法及び場所打ち杭の施工管理の方法が整備されており、その記録が整理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3) 杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4) 掘削機械の水平度、安全度、鉛直度等が設計図書を満足していることが確認できる。 【コンクリート杭、鋼管杭】 <input type="checkbox"/> 5) 杭の仮置き方法が適切である。 <input type="checkbox"/> 6) 溶接の品質管理に関して、設計図書に定められた仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7) 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。 【場所打杭(オールケーシング、リバース、アースドリル工法等)】 <input type="checkbox"/> 8) 場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上挿入して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9) 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10) 設計図書に基づくコンクリートが使用されており、適切なコンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材粒径・アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> 11) コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量、塩基総量、単位水量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 12) 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さを適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 13) 鉄筋の品質が証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 14) 鉄筋の引張強度・曲げ強度が試験値で確認できる。(監督員が立会した場合を含む。) <input type="checkbox"/> 15) コンクリート打設までさび、どろ、油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 16) 鉄筋の組立及び加工が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 17) スペースの品質及び個数が仕様書に定められた条件を満足し、鉄筋のかぶりを確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 18) コンクリートの圧縮強度を管理し、工期内に28日強度が確認できない場合は監督員と所定の協議を行っている。							
		●判断基準 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満.....a' 評価値が70%以上80%未満.....b 評価値が60%以上70%未満.....b' 評価値が60%未満.....c					①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑤当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(☆印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。		

工事成績評定の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

2018/1/1 以降

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	基礎工事及び地盤改良工事 (NO.2)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]、 ※バラツキの判断は様式3-9図参照					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合(手直し工事の完了が検査の翌日中に検査員により確認できた場合)は、「d」より上位の評価とすることができる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員又は検査時の指摘による修補を行った。
		●評価対象項目 【深礎杭】 <input type="checkbox"/> 19) ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みが少なくなるよう配慮して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 20) 裏込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 21) 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料が、整理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 22) 裏込材(グラウト用モルタル)が設計図書に基づく配合試験及び試験練が行われており、適切なモルタルの規格が確認できる。 <input type="checkbox"/> 23) コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量、塩基総量、単位水量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 24) 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さを適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 25) 鉄筋の品質が証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 26) 鉄筋の引張強度・曲げ強度が試験値で確認できる。(監督員が立会した場合を含む。) <input type="checkbox"/> 27) コンクリート打設までさび、どろ、油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 28) 鉄筋の組立及び加工が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 29) コンクリートの圧縮強度を管理し、工期内に28日強度が確認できない場合は監督員と所定の協議を行っている。 【鋼管井筒基礎工】 <input type="checkbox"/> 30) 杭の仮置き方法が適切である。 <input type="checkbox"/> 31) 溶接の品質管理に関して、設計図書に定められた仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 32) コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量、単位水量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 33) 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 34) 鉄筋の品質が証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 35) 鉄筋の引張強度・曲げ強度が試験値で確認できる。(監督員が立会した場合を含む。) <input type="checkbox"/> 36) コンクリート打設までさび、どろ、油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 37) 鉄筋の組立及び加工が、設計図書を満足していることが確認できる。 【地盤改良関係】 <input type="checkbox"/> 38) 施工地盤は不陸整正され、安定剤が路床土と均一に攪拌混合されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 39) 安定剤の散布及び混合時に粉塵等の対策が実施されている。 <input type="checkbox"/> 40) 置き換え掘削深さ及び幅は設計書どおり確保され、一層の敷均し厚は所定の仕上がり厚で十分に締め固められている。 <input type="checkbox"/> 41) サンドドレーン・ベーパードレーン工法では、材料の使用量が記録されている。 <input type="checkbox"/> 42) 改良材のバッチ管理記録が整理され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 43) セメントミルクの比重、スラリー噴出量、強度等の管理資料が、整理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 44) 事前に土質試験を実施し、改良材の選定、必要添加量の設定等が行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 45) 施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 46) 設計図書に示された六価クロム溶出試験が行われ、監督員の承諾がなされていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 47) その他						
							●判断基準 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満.....a' 評価値が70%以上80%未満.....b 評価値が60%以上70%未満.....b' 評価値が60%未満.....c	

工事成績評定の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

2018/1/1 以降

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	二次製品構造物、小型構造物	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]、 ※バラツキの判断は様式3-9図参照					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合(手直し工事の完了が検査の翌日に検査員により確認できた場合)は、「d」より上位の評価とすることができる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員又は検査時の指摘による修補を行った。	
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1) 施工基面が平滑に仕上げられ、浮き石、ゴミ、湧水及び滞水等を排除して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2) 盛土又は埋戻し材料が設計図書の仕様を満足しているとともに、巻出し、転圧が適切に施工され、設計図に示す形状に仕上げられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3) コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量、塩基総量、単位水量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 4) 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 ☆ <input type="checkbox"/> 5) 施工条件や気象条件に適した運搬・打設時間、打設時の投入高さ、締固め方法及び養生方法が定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> 6) コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理、面取りが適切に行なわれているとともに、脱型後に、型枠の締め付け材がコンクリート表面に残されてないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7) コンクリートの圧縮強度を管理し、工期内に28日強度が確認できない場合は監督員と所定の協議を行っている。 <input type="checkbox"/> 8) 製品に有害なひび割れ等の損傷がない、又は、損傷部を適切に補修している。 <input type="checkbox"/> 9) JIS製品以外の製品は、外観及び品質規格証明書等の資料が整っている。 ☆ <input type="checkbox"/> 10) 製品のかみ合わせが適切に施工されている。また、組立製品の連結等の適切な施工が、点検記録等により確認できる。 ☆ <input type="checkbox"/> 11) 緊張及びグラウト管理が適切に実施され、記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 12) 継目部の目地モルタルが適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 13) その他							
		●判断基準 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満.....a' 評価値が70%以上80%未満.....b 評価値が60%以上70%未満.....b' 評価値が60%未満.....c					①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値 (%) = 該当項目数 () / 評価対象項目数 () ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。 ⑤当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(☆印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。		

工事成績評定の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

2018/1/1 以降

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	コンクリート橋工事(PC及びRCを対象)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]、 ※バラツキの判断は様式3-9図参照					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合(手直し工事の完了が検査の翌日に検査員により確認できた場合)は、「d」より上位の評価とすることができる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員又は検査時の指摘による修補を行った。	
II. 品質		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1) 設計図書に基づくコンクリートが使用されており、適切なコンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材粒径・アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> 2) コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量、塩基総量、単位水量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 3) 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 ☆ <input type="checkbox"/> 4) 施工条件や気象条件に適した運搬・打設時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> 5) コンクリートが、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6) 鉄筋の品質が証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 7) 鉄筋の引張強度・曲げ強度が試験値で確認できる。 <input type="checkbox"/> 8) コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9) 圧接作業は有資格作業員が行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10) 鉄筋の組立及び加工が、設計図書を満足していることが確認できる。 ☆ <input type="checkbox"/> 11) コンクリートの養生が、定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12) スペーサーの品質及び個数が仕様書に定められた条件を満足し、鉄筋のかぶりを確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13) シース、PC鋼材の配置が適切であることが確認出来る。 <input type="checkbox"/> 14) プレブーム桁のプレフレクション管理が設計図書の仕様を満足することが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15) 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。 ☆ <input type="checkbox"/> 16) PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が設計図書の仕様を満足することが確認できる。 <input type="checkbox"/> 17) プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 18) コンクリート圧縮強度の確認は、構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 19) コンクリートの圧縮強度を管理し、工期内に28日強度が確認できない場合は監督員と所定の協議を行っている。 <input type="checkbox"/> 20) コンクリート構造物に有害なクラックがない。 ※様式土3-9を参照 <input type="checkbox"/> 21) その他							
		●判断基準 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満.....a' 評価値が70%以上80%未満.....b 評価値が60%以上70%未満.....b' 評価値が60%未満.....c					①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑤当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(☆印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。		

工事成績評定の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

2018/1/1 以降

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	塗装工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]、 ※バラツキの判断は様式3-9図参照						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合(手直し工事の完了が検査の翌日中に検査員により確認できた場合)は、「d」より上位の評価とすることができる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員又は検査時の指摘による修補を行った。
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1) 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 ☆ <input type="checkbox"/> 2) ケレンを入念に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3) 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い塗装作業を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4) 塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5) 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6) 塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7) 塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8) 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9) 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 <input type="checkbox"/> 10) その他							
		●判断基準 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満.....a' 評価値が70%以上80%未満.....b 評価値が60%以上70%未満.....b' 評価値が60%未満.....c						①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値 (%) = 該当項目数 () / 評価対象項目数 () ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。 ⑤当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(☆印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。	

工事成績評定の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

2018/1/1 以降

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	トンネル工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]、 ※バラツキの判断は様式3-9図参照					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合(手直し工事の完了が検査の翌日に検査員により確認できた場合)は、「d」より上位の評価とすることができる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員又は検査時の指摘による修補を行った。	
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1) 設計図書に基づくコンクリートが使用されており、適切なコンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材粒径・アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> 2) コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量、塩基総量、単位水量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 3) 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 ☆ <input type="checkbox"/> 4) 施工条件や気象条件に適した運搬・打設時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> 5) 鋼材・鉄筋の品質が証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 6) 鉄筋の引張強度・曲げ強度が試験地で確認できる。 <input type="checkbox"/> 7) 鉄筋の組立及び加工が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8) スペースの品質及び個数が仕様書に定められた条件を満足し、鉄筋のかぶりを確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9) 鋼材、鉄網の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10) コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理されていることが確認できる。 ☆ <input type="checkbox"/> 11) コンクリートの養生が、定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12) 吹付コンクリートの配合及びロックボルトの種類、規格が設計図書で定められた仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13) 設計図書に定められた岩区分(支保工パターン含む)の境界を確認して施工を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14) 坑内観察調査などについて、設計図書に定められた仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15) 計測管理を日々行っており、その結果に基づいた施工が行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 16) 金網の継ぎ目が15cm以上重ね合わせて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 17) 吹付コンクリートの施工にあたって、浮石等を除いた後に、吹付コンクリートの一層の厚さが15cm以下で地山と密着するよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 18) 吹付コンクリートを打継ぎする場合は、吹付完了面を清掃した上、湿潤状態で施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 19) ロックボルト挿入前にくり粉除去の清掃がなされていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 20) ロックボルトの定着長が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 21) 防水工に防水シートを使用する場合は、ロックボルト等の突起物にモルタルや保護マット等で防護対策を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 22) 逆巻きの場合において、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継ぎが同一線上で施工していないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 23) コンクリート構造物に有害なクラックがない。 ※様式土3-9を参照 <input type="checkbox"/> 24) その他							
		●判断基準 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満.....a' 評価値が70%以上80%未満.....b 評価値が60%以上70%未満.....b' 評価値が60%未満.....c					①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑤当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(☆印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。		

工事成績評定の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

2018/1/1 以降

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	防護柵(網)・標識・区画線等設置工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]、 ※バラツキの判断は様式3-9図参照						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合(手直し工事の完了が検査の翌日に検査員により確認できた場合)は、「d」より上位の評価とすることができる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員又は検査時の指摘による修補を行った。
	●評価対象項目	☆ <input type="checkbox"/> 1) 防護柵の設置基準、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2) 防護柵等の床掘りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3) 防護柵等の基礎工の施工にあたって、二次製品構造物、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4) 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5) ガードケーブルを支柱に取付ける場合、設計図書に定められた所定の張力が与えているのが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6) ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。 ☆ <input type="checkbox"/> 7) 防護柵等の組立ての適切な施工が、点検記録等により確認できる。 <input type="checkbox"/> 8) ペイント式(常温式)区画線に使用するツナーの使用量が10%以下であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9) 区画線の厚さが見本等で設計図書に定められた仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10) 熔融式、高視認性区画線の施工では、常に180~220℃の温度で塗布出来るよう溶解槽の温度管理がなされていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11) 区画線の施工にあたって 設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12) 区画線を消去の場合、表示材(塗料)のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13) プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14) 防護柵(網)、標識、区画線等の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15) その他							
		●判断基準 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満.....a' 評価値が70%以上80%未満.....b 評価値が60%以上70%未満.....b' 評価値が60%未満.....c						①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑤当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(☆印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。	

工事成績評定の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

2018/1/1 以降

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	植栽工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]、 ※バラツキの判断は様式3-9図参照					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合(手直し工事の完了が検査の翌日中に検査員により確認できた場合)は、「d」より上位の評価とすることができる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員又は検査時の指摘による修補を行った。	
		●評価対象項目 [共通] <input type="checkbox"/> 1) 土壌硬度試験及び土壌試験(PH)を実施し施工に反映している。 ☆ <input type="checkbox"/> 2) 活着が促されるよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3) 樹木等の生育に害のある害虫等がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4) 樹木などに損傷、はちくずれ等が無いよう保護養生を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5) 土壌改良材等(種類、施用量、施用方法等)は適切に施工されている。 [高中低木植栽及び移植] <input type="checkbox"/> 6) 施工完了後、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7) 移植木の管理(掘り取り、剪定、運搬、養生等)が適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8) 肥料が直接樹木の根に触れないよう均一に施肥していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 9) 植えた樹木に対して余裕のある植穴を掘り、植穴底部を耕していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10) 添木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。 [地被類植栽] <input type="checkbox"/> 11) 芝、地被は病害虫がなく、生育・緊密度に優れ、雑物の混じっていないものが使用されている。 <input type="checkbox"/> 12) 地被植物は草姿、草勢、ポット内の根茎等の品質の良いものが使用されている。 <input type="checkbox"/> 13) 芝張り後の処置が適切で活着している。 <input type="checkbox"/> 14) その他							
		●判断基準 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満.....a' 評価値が70%以上80%未満.....b 評価値が60%以上70%未満.....b' 評価値が60%未満.....c					①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。 ⑤当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(☆印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。		

工事成績評定の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

2018/1/1 以降

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	港湾築造工事 (浚渫海岸築造工事を含む) (NO.1)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]、 ※パラツキの判断は様式3-9図参照						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合(手直し工事の完了が検査の翌日中に検査員により確認できた場合)は、「d」より上位の評価とすることができる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員又は検査時の指摘による修補を行った。
		●評価対象項目 [共通] <input type="checkbox"/> 1) 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2) 既設構造物に影響のないよう十分検討して施工されている。 [浚渫・床掘関係] <input type="checkbox"/> 3) 土砂処分における運搬途中で漏出がないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4) 浚渫工又は床掘工について仕様書に定められた施工上の注意事項が守られている。 [地盤改良関係] <input type="checkbox"/> 5) 改良材料の品質管理を適切に行っていることが記録で確認できる。 <input type="checkbox"/> 6) 浮泥を巻き込まないよう置換材を投入していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7) サンドレーン・砕石レーン、サンドコンパクションパイル及びロッドコンパクションが連続した一様な形状・品質に施工されていることが打込記録等により確認できる。 <input type="checkbox"/> 8) ペーパーレーンが計画深度まで破損なく正常に形成されていることが打込記録等により確認できる。 <input type="checkbox"/> 9) 打設を完了したペーパーレーンの頭部が保護され、排水効果が維持されている。 <input type="checkbox"/> 10) 深層混合処理の打込記録等から、仕様書に定められている事項が確認できる。 <input type="checkbox"/> 11) 前記7),8),9)以外の改良工法について、記録から仕様書に定められている事項が確認できる。 <input type="checkbox"/> 12) サンドコンパクションパイル、深層混合処理において、盛り土の状況確認及び管理を適切に行っていることが記録で確認できる。 [マット、捨石及び均し関係] <input type="checkbox"/> 13) 捨石、被覆石など材料の規格・品質が試験成績表等(現物照合を含む)で確認できる。 <input type="checkbox"/> 14) マットが破損なく所定の幅で重ね合わせられていることが写真記録等により確認できる。 <input type="checkbox"/> 15) 被覆石及び根固め石がゆるみのないよう堅固に施工され、記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 16) 裏込めが既設構造物及び防砂目地板の破損がなく施工され、記録により確認できる。 [本体・杭及び矢板、控工関係] <input type="checkbox"/> 17) 鋼材の規格・数量がミルシート等(現物照合を含む)で確認できる。 <input type="checkbox"/> 18) 鋼材の保管にあたり、変形及び塗覆面に損傷を与えないよう、適切に処置されている。 ☆ <input type="checkbox"/> 19) 杭及び矢板の打止めの施工管理方法等が整備され、かつ記録が確認できる。 <input type="checkbox"/> 20) 腹起し材を全長にわたり規定の水平高さに取り付け、ボルトで十分締め付け矢板壁に密着させている。 <input type="checkbox"/> 21) タイロッドは隅角部等特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されている。 <input type="checkbox"/> 22) タイワイヤーは隅角部等特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されている。 <input type="checkbox"/> 23) 溶接及び切断について、仕様書等設計図書に定められたとおり行われていることが確認できる。 [本体・ケーソン据付、ブロック据付関係] <input type="checkbox"/> 24) ケーソン仮置に先立ち仮置場を調査し、所定の位置に異常なく仮置きされていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 25) ケーソン及び既設構造物等に破損がなく施工されている。 <input type="checkbox"/> 26) ケーソンの据え付けの際に、既設構造物との接触面に付着している貝・海藻類を除去している。 <input type="checkbox"/> 27) コンクリートブロック及び既設構造物等の破損がなく施工されている。							
①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値 (%) = 該当項目数 () / 評価対象項目数 () ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑤当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(☆印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。									
							●判断基準 評価値が90%以上……………a 評価値が80%以上90%未満……………a' 評価値が70%以上80%未満……………b 評価値が60%以上70%未満……………b' 評価値が60%未満……………c		

工事成績評定の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

2018/1/1 以降

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	港湾築造工事 (浚渫海岸築造工事を含む) (NO.2)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]、 ※バラツキの判断は様式3-9図参照					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合(手直し工事の完了が検査の翌日中に検査員により確認できた場合)は、「d」より上位の評価とすることができる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員又は検査時の指摘による修補を行った。	
		●評価対象項目 [コンクリート関係] <input type="checkbox"/> 28) 設計図書に基づくコンクリートが使用されており、適切なコンクリートの品質(強度・w/c・最大骨材粒径・アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> 29) コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量、塩基総量、単位水量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> 30) 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 ☆ <input type="checkbox"/> 31) 施工条件や気象条件に適した運搬・打設時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) <input type="checkbox"/> 32) コンクリートが、必要な強度に達した後に型枠、支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 33) 鉄筋の品質が証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 34) 鉄筋の引張り強度・曲げ強度が試験値で確認できる。 <input type="checkbox"/> 35) コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 36) 鉄筋の組立及び加工が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 37) スペースの品質及び個数が仕様書に定められた条件を満足し、鉄筋のかぶりを確保していることが確認できる。 ☆ <input type="checkbox"/> 38) コンクリートの養生が、定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 39) コンクリートの圧縮強度を管理し、工期内に28日強度が確認できない場合は監督員と所定の協議を行っている。 <input type="checkbox"/> 40) コンクリート構造物に有害なクラックがない。 ※様式土3-9を参照 <input type="checkbox"/> 41) その他							
		●判断基準 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満.....a' 評価値が70%以上80%未満.....b 評価値が60%以上70%未満.....b' 評価値が60%未満.....c					①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値 () (%) = 該当項目数 () / 評価対象項目数 () ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑤当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(☆印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。		

工事成績評定の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

2018/1/1 以降

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	ほ場整備工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]、 ※バラツキの判断は様式3-9図参照						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合(手直し工事の完了が検査の翌日に検査員により確認できた場合)は、「d」より上位の評価とすることができる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員又は検査時の指摘による修補を行った。
		●評価対象項目 [整地工] ☆ <input type="checkbox"/> 1) 基盤切盛が適正に施工され、基盤の均平度が良好である。 <input type="checkbox"/> 2) 畦畔及び法面が十分に転圧されている。 <input type="checkbox"/> 3) 石礫や雑物が適正に処理されている。 [水路工] [農道工] <input type="checkbox"/> 4) 水路及び構造物の埋め戻し土が十分に締め固められており、周辺との段差がない。 <input type="checkbox"/> 5) 水路及び構造物の据付面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 6) 水路構造物に損傷がない。又は、損傷部を適切に補修している。 <input type="checkbox"/> 7) コンクリート2次製品の接合が良く、漏水がない。 <input type="checkbox"/> 8) 付帯構造物が設計図書のとおり適正に施工されている。 <input type="checkbox"/> 9) 適正な水路勾配で施工され、ほ場面標高も考慮して施工されている。 <input type="checkbox"/> 10) 道路路体の転圧が充分なされていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11) 道路の上置碎石の転圧が充分に行われている。 <input type="checkbox"/> 12) その他							
		●判断基準 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満.....a' 評価値が70%以上80%未満.....b 評価値が60%以上70%未満.....b' 評価値が60%未満.....c						①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑤当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(☆印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。	

工事成績評定の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

2018/1/1 以降

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	暗渠排水工事 (湧水処理)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]、 ※バラツキの判断は様式3-9図参照					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合(手直し工事の完了が検査の翌日中に検査員により確認できた場合)は、「d」より上位の評価とすることができる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員又は検査時の指摘による修補を行った。
II. 品質		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1) 掘削底面が平滑に仕上げられている。 ☆ <input type="checkbox"/> 2) 管路勾配が適正に施工されている。 <input type="checkbox"/> 3) 管路の接続が適正である。 <input type="checkbox"/> 4) 被覆材、疎水材が仕様書に定めた品質を有し、雑物等の混入がない。 <input type="checkbox"/> 5) 埋め戻しが適正に施工され周辺との段差がない。 <input type="checkbox"/> 6) その他						
		●判断基準 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満.....a' 評価値が70%以上80%未満.....b 評価値が60%以上70%未満.....b' 評価値が60%未満.....c						
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑤当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(☆印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。 </div>								

工事成績評定の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

2018/1/1 以降

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	管水路工事(ハイブライン)、畑かん工事、営農飲雑用水工事 ☆	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]、 ※バラツキの判断は様式3-9図参照						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合(手直し工事の完了が検査の翌日中に検査員により確認できた場合)は、「d」より上位の評価とすることができる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員又は検査時の指摘による修補を行った。
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1) 掘削底面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 2) 管及び付属品(制水弁、空気弁等)の据付及び接合が適正に施工されている。 <input type="checkbox"/> 3) 仕様書等で示す条件により締め固めが実施されている。 <input type="checkbox"/> 4) 路盤復旧が設計図書に示す条件により実施されている。(使用材料、締固方法、締固密度等) <input type="checkbox"/> 5) プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6) アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件が配慮されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7) アスファルト舗装工の密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8) 材料の品質が証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 9) 通水試験を適正に行い、漏水の有無等を確認している。 <input type="checkbox"/> 10) その他 ●判断基準 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満.....a' 評価値が70%以上80%未満.....b 評価値が60%以上70%未満.....b' 評価値が60%未満.....c							

①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。
 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
 ③評価値 (%) = 該当項目数 () / 評価対象項目数 ()
 ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。
 ⑤当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(☆印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。

工事成績評定の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

2018/1/1 以降

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	木製構造物工事 ☆	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]、 ※バラツキの判断は様式3-9図参照					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合(手直し工事の完了が検査の翌日に検査員により確認できた場合)は、「d」より上位の評価とすることができる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員又は検査時の指摘による修補を行った。
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1) 木材の組立が適正であり、ボルトの締め付けも適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> 2) 中詰、裏込材の詰め込みが適切であり、空隙が少なくなるよう施工されている。 <input type="checkbox"/> 3) 施工基面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 4) 材料の品質及び形状が設計図書等のおりであることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5) その他 ●判断基準 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満.....a' 評価値が70%以上80%未満.....b 評価値が60%以上70%未満.....b' 評価値が60%未満.....c						
①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑤当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(☆印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。								

工事成績評定の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

2018/1/1 以降

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	鋼製自在枠工事 ☆	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]、 ※バラツキの判断は様式3-9図参照					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合(手直し工事の完了が検査の翌日に検査員により確認できた場合)は、「d」より上位の評価とすることができる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員又は検査時の指摘による修補を行った。	
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1) 鋼材の規格及び員数がミルシート等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 2) 鋼材の組立やボルトの締め付けの適切な施行が、点検記録等により確認できる。 <input type="checkbox"/> 3) 中詰材の詰め込みが適切であり、空隙が少なくなるよう施工されている。 <input type="checkbox"/> 4) 施工基面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 5) 掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工している。 <input type="checkbox"/> 6) 地山との組み合わせが適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> 7) その他							
		●判断基準 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満.....a' 評価値が70%以上80%未満.....b 評価値が60%以上70%未満.....b' 評価値が60%未満.....c					①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値 (%) = 該当項目数 () / 評価対象項目数 () ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑤当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(☆印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。		

工事成績評定の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

2018/1/1 以降

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	補強土壁工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]、 ※バラツキの判断は様式3-9図参照					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合(手直し工事の完了が検査の翌日に検査員により確認できた場合)は、「d」より上位の評価とすることができる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員又は検査時の指摘による修補を行った。	
		●評価対象項目 【共通】 <input type="checkbox"/> 1) 施工基面が平滑に仕上げられ、支持力が確認されている。 <input type="checkbox"/> 2) 盛土材は、材料試験が実施され、現場に反映されている。 ☆ <input type="checkbox"/> 3) 盛土の締固めが適切な条件(含水比、人力機械別、巻き出し厚・敷均し、転圧作業)で施工され、現場密度も確認できる。 <input type="checkbox"/> 4) 現場条件に応じた排水対策が施工時を含め適切に講じられている。 <input type="checkbox"/> 5) 盛土材、壁面材等の諸材料の保管管理が適切である。 <input type="checkbox"/> 6) 壁面材等の材料の品質・規格がミルシート、工場管理資料より確認できる。 <input type="checkbox"/> 7) 製品に有害な損傷等がなく、又は損傷部等を適切に補修している。 【テールアルメ、多数アンカー】 ☆ <input type="checkbox"/> 8) 壁面材と補強材の取付の適切な施工が、点検記録等により確認できる。 <input type="checkbox"/> 9) 補強材の取付角度が適切で、水平に敷設されている。 <input type="checkbox"/> 10) 透水防砂材の取付が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 11) 目地材の設置が適切に行われている。 【ジオテキスタイル】 ☆ <input type="checkbox"/> 12) 壁面材とジオテキスタイル(補強材)の連結等組立の適切な施工が、点検記録等により確認できる。 <input type="checkbox"/> 13) ジオテキスタイルは壁面材に対して直角かつ水平に敷設され、適度に緊張・固定されている。 <input type="checkbox"/> 14) シート、植生マットの取付けが適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 15) その他							
		●判断基準 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満.....a' 評価値が70%以上80%未満.....b 評価値が60%以上70%未満.....b' 評価値が60%未満.....c					①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値 (%) = 該当項目数 () / 評価対象項目数 () ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑤当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(☆印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。		

工事成績評定の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

2018/1/1 以降

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	軽量盛土工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]、 ※バラツキの判断は様式3-9図参照						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合(手直し工事の完了が検査の翌日中に検査員により確認できた場合)は、「d」より上位の評価とすることができる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員又は検査時の指摘による修補を行った。
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1) 発泡スチロールブロック(以下「発泡材」)の設置基面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 2) 地下水の排水や雨水排水が適切に行われ、レベリング層がドライな状態に保たれている。 <input type="checkbox"/> 3) 発泡材の保管・管理が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 4) 発泡材の目地の開き、段差が適切に処理されている。 <input type="checkbox"/> 5) 発泡材部と盛土部間の隙間の埋戻しが適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 6) 発泡材のカットが適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 7) 発泡材の緊結金具の設置が適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 8) 製品の材質は適正で、品質が確認できる。 ☆ <input type="checkbox"/> 9) 発泡材の割付図が提出されており、現場と一致している。 <input type="checkbox"/> 10) その他							
		●判断基準 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満.....a' 評価値が70%以上80%未満.....b 評価値が60%以上70%未満.....b' 評価値が60%未満.....c						①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値 (%) = 該当項目数 () / 評価対象項目数 () ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはc評価とする。 ⑤当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(☆印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。	

工事成績評定の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

2018/1/1 以降

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	橋梁補修 修繕工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]、 ※バラツキの判断は様式3-9図参照					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合(手直し工事の完了が検査の翌日中に検査員により確認できた場合)は、「d」より上位の評価とすることができる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員又は検査時の指摘による修補を行った。
II. 品質	(NO.1)	●評価対象項目 [クラック補修(ひびわれ注入)] <input type="checkbox"/> 1) 施工面の泥等を除去していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2) クラックの中心位置に注入器を取り付け、シール材硬化後に注入していることが確認できる。 ☆ <input type="checkbox"/> 3) 主剤と硬化剤の攪拌、配合が適正に管理され、可使時間内の施工が確認できる。 <input type="checkbox"/> 4) 天候等現場状況を確認し、気温、湿度等の計測を行い作業していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5) 注入材の硬化養生後、シール部を平坦に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6) 使用する材料の品質・形状等が適切であり品質証明等により材料確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 7) その他 [橋梁塗装] <input type="checkbox"/> 8) 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 ☆ <input type="checkbox"/> 9) ケレンを入念に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10) 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い塗装作業を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11) 塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12) 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13) 塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14) 塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15) 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 16) 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 <input type="checkbox"/> 17) その他 [伸縮継手] <input type="checkbox"/> 18) 既設伸縮装置撤去が適切に行われ、清掃されていることが確認できる。 ☆ <input type="checkbox"/> 19) 鉄筋の加工・組立、アンカーの長さ及び定着等が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 20) コンクリート打設が適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 21) プライマー等が均一に塗布され、可使時間、養生が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 22) シール(止水)材充填が適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 23) 弾性合材舗装が適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 24) 使用する材料の品質・形状等が適切であり品質証明等により材料確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 25) その他					①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑤当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目(☆印)が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。	
							●判断基準 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満.....a' 評価値が70%以上80%未満.....b 評価値が60%以上70%未満.....b' 評価値が60%未満.....c	

工事成績評定の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

2018/1/1 以降

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	橋梁補修 修繕工事 (NO.2)	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]、 ※バラツキの判断は様式3-9図参照						<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合(手直し工事の完了が検査の翌日中に検査員により確認できた場合)は、「d」より上位の評価とすることができる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員又は検査時の指摘による修補を行った。
		●評価対象項目 [含浸材塗布] <input type="checkbox"/> 26) 高圧洗浄水等で洗浄後、基面を乾燥させていることが確認できる。 ☆ <input type="checkbox"/> 27) 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い塗装作業を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 28) 含浸材塗布が施工条件に配慮し、適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 29) 塗布後の養生が適切に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 30) 含浸材の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 31) 使用する材料の品質・形状等が適切であり品質証明等により材料確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 32) その他 [断面修復工] <input type="checkbox"/> 34) はつり、防錆処理が適切にされていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 34) プライマーが均一に塗布され、可使時間、養生が適切であることが確認できる。 ☆ <input type="checkbox"/> 35) 攪拌、配合が適正に管理され、可使時間内の施工が確認できる。 <input type="checkbox"/> 36) 充填後、雨水にさらされないよう養生されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 37) 断面修復後にクラックがないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 38) 使用する材料の品質・形状等が適切であり品質証明等により材料確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 39) その他							
		●判断基準 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満.....a' 評価値が70%以上80%未満.....b 評価値が60%以上70%未満.....b' 評価値が60%未満.....c						①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ③評価値 (%) = 該当項目数 () / 評価対象項目数 () ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。 ⑤当工種の中で品質を左右すると考えられる重要項目 (☆印) が実施されていない場合は、評価値にかかわらず「a」または「a'」の評価はしない。	

工事成績評定の考査項目別運用表(土木工事)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

2018/1/1 以降

(検査員)

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	上記以外の工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]、 ※バラツキの判断は様式3-9図参照					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合(手直し工事の完了が検査の翌日中に検査員により確認できた場合)は、「d」より上位の評価とすることができる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員又は検査時の指摘による修補を行った。
	II. 品質	●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1) <input type="checkbox"/> 2) <input type="checkbox"/> 3) <input type="checkbox"/> 4) <input type="checkbox"/> 5) <input type="checkbox"/> 6) 注 評価対象項目は6項目以上とする。						
		a	a'	b	b'	c	d	e
	上記以外の工事	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]、 ※バラツキの判断は様式3-9図参照					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 又は検査時に検査員の指摘を受け、監督員の指示により手直し工事を行った。ただし、手直し工事の程度が小さい場合(手直し工事の完了が検査の翌日中に検査員により確認できた場合)は、「d」より上位の評価とすることができる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員又は検査時の指摘による修補を行った。
		●評価対象項目 <input type="checkbox"/> 1) <input type="checkbox"/> 2) <input type="checkbox"/> 3) <input type="checkbox"/> 4) <input type="checkbox"/> 5) <input type="checkbox"/> 6) 注 評価対象項目は6項目以上とする。						

●判断基準

該当項目が6項目以上 ... a

該当項目が5項目 ... a'

該当項目が4項目 ... b

該当項目が3項目 ... b'

該当項目が2項目以下 ... c

●判断基準

該当項目が6項目以上 ... a

該当項目が5項目 ... a'

該当項目が4項目 ... b

該当項目が3項目 ... b'

該当項目が2項目以下 ... c